

令和2年度 事務事業評価シート(詳細) ※令和元年度に実施した事業を評価しています

基本情報

事務事業名	スポーツ拠点づくり推進事業			
担当部署	文化スポーツ部	スポーツ振興課	事業コード	3
所属長	石川 辰生		事業区分	ソフト事業
予算事業名	スポーツ教室・大会等の充実		新規・継続	継続
予算事業コード	会計	10	款	02
			項	01
			目	19
			事業開始年度	平成19年

1. 事業の位置付け、関連事業及び法令による実施義務等(Plan)

第四次川越市総合計画上の位置付け(太枠内)

基本目標(章)	第3章	歴史と文化を感じながら学びあい、豊かな心を育むまち	法令による実施義務	義務ではない
施策	17	生涯スポーツの推進	根拠となる法令	なし
取組施策	2	スポーツ大会やスポーツ教室等の充実	その他実施根拠(条例、要綱等)	スポーツ拠点づくり推進事業実施要綱 他
関連事業	なし			

2. 事業の目的と概要(Plan)

実施主体	補助金			
対象(誰・何を対象に)	日本ジュニアゴルフ選手権競技			
目的(対象をどのようにしたいか)	一般財団法人地域活性化センターにより承認をうけた、スポーツ拠点づくり推進事業のスポーツ大会として、地域及び関係者の手によって、自立的に大会を開催できる体制へ移行できるようにするものである。			
事業の概要(活動内容、実施手段・方法など)	霞ヶ関カンツリー倶楽部を会場に毎年開催される日本ジュニアゴルフ選手権は、スポーツの振興と地域の活性化を図る「スポーツ拠点づくり推進事業」として承認されている大会である。また、平成29年からは「スポーツ拠点づくり自立促進事業」として承認を受け、本市にある霞ヶ関カンツリー倶楽部が全国のジュニアゴルフの拠点となるよう地域の活性化を図るうえで支援するものである。			

3. 前年度に立てた計画(Plan)

<ul style="list-style-type: none"> ・霞ヶ関カンツリー倶楽部を日本ジュニアゴルフ選手権競技の会場とする。 ・スポーツ拠点づくり推進事業実施要綱に基づき、円滑に大会が開催できるよう、一般社団法人霞ヶ関カンツリー倶楽部及び川越市ゴルフ協会と協力し大会の準備・運営を行う。
--

4. 取組実績(Do)

<ul style="list-style-type: none"> ・「JOCジュニアオリンピックカップ 2019年度(第25回)日本ジュニアゴルフ選手権競技」として大会を開催。 ・開催日は令和元年8月14日(水)、15日(木)、16日(金)の3日間。 ・会場は霞ヶ関カンツリー倶楽部であり、ジュニアゴルフ競技最大の祭典として、ゴルフ競技の普及・振興はもとより、心身ともに健全なスポーツ選手の育成に大きな成果をあげた。

5. 実施にかかるコスト(Do)

(単位:千円)

(1) 支出の部	29年度	30年度	元年度	2年度(見込額)	備考
人件費	2,661	2,671	2,671	0	令和2年度は、霞ヶ関カンツリー倶楽部が東京オリンピックのゴルフ会場となっていたため、大会が中止。
A					
正規職員(1年間の従事人数)	0.35人	0.35人	0.35人	0.00人	
臨時職員(1年間の従事人数)	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	
事業費	4,000	4,000	4,000	0	
B					
補助金	4,000	4,000	4,000	0	
総支出(A+B)	6,661	6,671	6,671	0	

(2) 収入の部

国庫支出金	2,000	2,000	1,000	0	※国庫支出金=スポーツ拠点づくり自立促進事業助成金(令和元年度で終了)
県支出金	0	0	0	0	
地方債	0	0	0	0	
使用料・手数料	0	0	0	0	
その他特定財源	0	0	0	0	
一般財源	4,661	4,671	5,671	0	
総収入	6,661	6,671	6,671	0	

6. 指標による分析 (Check)

(1) 活動指標

評価指標	単位	29年度	30年度	元年度	2年度(予定)
指標の定義・説明					
指標の定義・説明					

単位当たり費用 (下段は前年度)
#DIV/0!
#DIV/0!
#DIV/0!
#DIV/0!

(2) 成果指標

評価指標	単位	29年度	30年度	元年度	2年度目標値	将来目標値
日本ジュニアゴルフ選手権参加者数	人	294.0	292.0	(目標) 290.0 (実績) 301.0	0.0	3年度 0.0
指標の定義・説明	大会に出場した選手の人数					
				(目標) (実績)		年度
指標の定義・説明						

単位当たり費用 (下段は前年度)
22.16
22.84
#DIV/0!
#DIV/0!

7. 評価 (Check)

項目	評価	評価コメント及び課題等
必要性	D	市が関与することが妥当であるか、時代の潮流や市民ニーズに対して目的や内容が合っているか
		本市のスポーツ振興に貢献している事業であるが、今後は民間委託等も考えるべき事業である。
有効性	A	施策の目標の達成に貢献しているか
		第四次川越市総合計画の取組施策 (No.17) に明示されている事業である。
達成度	A	設定した活動・成果指標の目標を達成しているか
		一般財団法人地域活性化センターよりスポーツ拠点づくり自立促進事業として承認をうけており、本市のスポーツ振興に貢献している。 また、参加者数においては、目標値に達し順調に推移している。
効率性	C	民間委託や指定管理者制度の導入は可能か、コスト削減の余地はあるか、受益と負担(補助)の適正化が図られているか
		コスト削減の余地があるとすれば、補助金を減額する以外にないものと認識はしている。
総合評価	C	スポーツ拠点づくり自立促進事業助成金が令和元年度を最後に打ち切りとなり、市補助金も令和2年度から無くなった。また、地域及び関係者の手によって大会を自立開催するという当初の目的を果たした。そのため、事業を縮小する必要がある。

8. 今後の方向性及び今後の取組(改善策など)(Action)

今後の方向性	縮小
2年度	霞ヶ関カンツリー倶楽部が東京オリンピックのゴルフ会場となっていたため、事業が中止となった。
3年度	東京オリンピックが令和3年度に延期したことに伴いゴルフ会場である霞ヶ関カンツリー倶楽部は、令和3年度も使用不可となっているため、開催についても未定である。 大会は今後も継続していくが、本市としての関わりは人員の協力のみとなり、補助金は廃止する。

【参考】

(1) 比較参考値(他市での類似事業の例など)

2019年度スポーツ拠点づくり自立促進事業【長野県箕輪町(全国カデ・エペフェンシング選手権大会)、鳥取県湯梨浜町(ジュニアグラウンド・ゴルフ発祥地大会)】

(2) これまでの見直しや改善等の経過

スポーツ拠点づくり自立促進事業助成金が令和元年度を最後に打ち切りとなった。
また、令和2年度は東京オリンピックのゴルフ競技場として開催時期が重なったため、事業が中止となった。